

経営経済動向調査結果（要約）

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会

宇城久地域ビジネスサポートセンター（宇治商工会議所・城陽商工会議所・久御山町商工会）

宇城久区域商工会議所・商工会広域連携協議会では、景気動向を把握するために、宇治・城陽・久御山区域内に有する企業を対象にアンケート調査を行った。

今回は、平成24年7月～12月、平成25年1月～6月期実績と、平成25年7月～12月期予測についての調査を本年7月に実施。406社から回答（回答率40.6%）を得た。

業界の景気

この調査は、各企業に関する業界の景況感を調査したもので、平成24年下期実績では「上昇」とした企業が13.5%、「下降」と回答した企業が39.2%、BSI値▲12.8となっており、平成25年上期では「上昇」と回答した企業が14.9%、「下降」とした企業が42.5%でBSI値▲13.8となっており、依然下降を示しており、まだまだ厳しい景況感となった。今後の平成25年下期予測については、BSI値は▲7.4となり、マイナス幅は若干縮小されているが、まだまだ厳しい見方をしている企業が多いという結果となった。

業種別にみると、平成25年上期において、全ての業種でBSI値はマイナスで、平成25年下期予測では、建設業のBSI値はプラスに転じ、その他の業種でも横ばいか、やや改善すると予測している。規模別にみると、A規模企業（従業員数20人以上）とB規模企業（従業員数19人以下）を比較すると、各期を通して規模の格差は現れており、今後の平成25年下期予測でも同傾向で推移していくと予測している。

業界の景気 項目	実 績						予 測		
	平成24年7月～12月			平成25年1月～6月			平成25年7月～12月		
業 種	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I
全 業 種	13.5	39.2	▲12.8	14.9	42.5	▲13.8	19.6	34.4	▲7.4
製 造 業	13.1	38.5	▲12.7	16.9	43.2	▲13.1	22.2	32.5	▲5.2
商 業	9.9	50.7	▲20.4	8.3	48.6	▲20.1	11.4	48.6	▲18.6
運輸・通信業	0.0	40.0	▲20.0	0.0	40.0	▲20.0	0.0	30.0	▲15.0
建 設 業	26.4	26.4	0.0	18.9	28.3	▲4.7	35.8	20.8	7.5
サービス業	9.3	38.9	▲14.8	14.8	46.3	▲15.7	7.5	37.7	▲15.1
A規模企業	19.2	30.8	▲5.8	19.2	34.6	▲7.7	24.6	26.9	▲1.2
B規模企業	10.7	43.2	▲16.2	12.9	46.3	▲16.7	17.2	38.1	▲10.4

（注）BSI値とは、企業経営者の景気全般の見通しについて、強気、弱気の度合を示すもので、プラスならば「強気」「楽観」、マイナス（▲）ならば「弱気」「悲観」を意味する。算出方法は、上昇回答から下降回答を差し引きし、2分の1を乗算。また、A規模企業は従業員20人以上の企業で、B規模企業は19人以下の企業。

自社の操業度

この調査は、各企業における操業度合を各期の直前期と比較したもので、平成24年下期、平成25年上期の全業種平均をみるとBSI値▲7.2、▲7.7となりマイナス幅はやや広がっている。今後の平成25年下期にかけては、「上昇」とする企業は横ばいであるが「下降」とする企業が減少し、BSI値は▲3.5となり、僅かながら下降幅が縮小すると予測されている。

業種別では、平成25年上期において、建設業はBSI値がプラスであるが、その他の業種ではBSI値はマイナスである。平成25年下期予測では、建設業、製造業、商業が若干の改善を示し、運輸・通信業は横ばい、サービス業は更に下降すると予測している。

自社の 操業度	実 績						予 測		
	平成24年7月～12月			平成25年1月～6月			平成25年7月～12月		
項目 業 種	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I	上 昇	下 降	B S I
全業種	20.0	34.4	▲7.2	22.9	38.4	▲7.7	22.9	29.9	▲3.5
製造業	21.0	34.6	▲6.8	25.7	40.2	▲7.2	25.8	28.2	▲1.2
商業	8.6	45.7	▲18.6	12.9	45.7	▲16.4	13.9	40.3	▲13.2
運輸・通信業	11.1	22.2	▲5.6	22.2	33.3	▲5.6	22.2	33.3	▲5.6
建設業	33.3	24.1	4.6	27.8	25.9	0.9	33.3	22.2	5.6
サービス業	18.5	31.5	▲6.5	20.4	35.2	▲7.4	13.2	30.2	▲8.5
A規模企業	28.5	22.3	3.1	28.5	27.7	0.4	31.5	20.0	5.8
B規模企業	15.9	40.2	▲12.2	20.3	43.5	▲11.6	18.8	34.7	▲7.9

生産・売上高

この調査は、製造業、建設業における生産高、商業、運輸・通信業、サービス業における売上高について、対直前期と比較したものである。平成25年上期での全業種平均をみると、対直前期に比べ増加と回答した企業は18.5%で、減少したと回答した企業は38.6%となりBSI値は▲10.1となっている。今後の平成25年下期については、BSI値▲5.6で、「減少」とする企業が減少し、やや改善されると予測している。

製・商品販売価格

平成25年上期実績の製品又は商品の販売価格を全業種平均で見ると、69.5%の企業は「ほぼ不変」としているものの、「下降」と答えた企業は23.6%、「上昇」と答えた企業は僅か6.9%である。先行きについても、マイナスを示し、まだまだ改善は見込めないと予測している。

当面の経営上の問題点

この調査は、企業における経営上の問題点（複数回答）について調査したものであり、全企業平均で最も多いのは、「売上げ不振」の45.1%であり、ついで「受注不振」の38.2%、「原材料高」の29.1%の順になっている。業種別に見ると、製造業で最も多くの企業が問題にしているのは、「受注不振」の54.4%で、ついで「売上げ不振」43.3%となっている。商業では、「売上げ不振」の59.7%が最も多く、ついで「原材料高」の33.3%となっている。運輸・通信業では、「求人難」の50.0%が、建設業では、「受注不振」が33.3%、サービス業では、「売上げ不振」の52.7%が最も多くなっている。